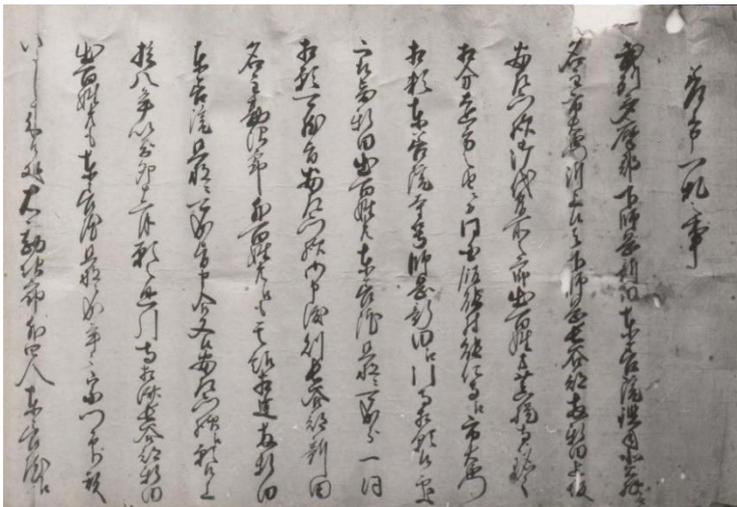


長谷部（幸）家文書 瑞穂町指定有形文化財

所在地：瑞穂町長岡長谷部



ぶしゅうおうぎまちや
武州扇町屋（現在の埼玉
県入間市）の豪商、長
谷部^{きちざえもん}吉左衛門・勘次郎^{かんじろう}
兄弟は、徳川吉宗（江
戸幕府 8 代将軍）によ
る享保の改革の時代、
享保 7 年(1722)、江戸

日本橋に掲示された「新田開発奨励の高札」を知り、その後現在の長岡長谷部における数百町歩の地所を「長谷部新田」として開墾し、その経営にあたりました。文書には、新田開発に係る証文等が数多く含まれ、開発当時の地域の様子を知る貴重な資料となっています。